

費目・工種・種別	備考	区分	実施設計			変更設計	
			数量	単位	算出式	数量	単位
管路							
管きょ工（開削）							
管路土工							
機械掘削工		機	48.0	m3	・ 管路土総括数量より	$16.96 + 15.70 + 15.56 = 48.22$	
機械投入埋戻工		機労	37.0	m3	・	$9.76 + 13.39 + 13.50 = 36.65$	
購入土	改良土	材	37.0	m3	・	同上	
発生土運搬（4t）	L=6.2km	機労	58.0	m3	・	$48.22 \times 1.2 = 57.86$	
残土処分費		機労	58.0	m3	・	同上	
管布設工							
硬質塩化ビニル管布設工		機労材	8.0	m	・ 平面図より L=8.0		
管明示テープ工	φ200	機労材	8.0	m	・	〃	
管明示シート工		機労材	8.0	m	・	〃	
管路土留工							
軽量鋼矢板建込工・引抜工	H=2.5m	機労	21.0	m	8.0(新設) + 8.0(撤去) + 2.5*2(1号MH)=21.0		
軽量金属支保工設置・撤去工	1段	機労	21.0	m	同上		
矢板賃料		材	1.0	式			
開削・汚水水替工							
ポンプ運転工	開削	機労材	6.0	日	2.0(新設) + 1.0(撤去) + 1.0(小型MH) + 2.0(1号MH) = 6.0		
ポンプ据付撤去工		機労材	1.0	現場			
ポンプ運転工(吸泥車4t)	汚水水替	機労材	3.0	日	1.0(小型MH) + 2.0(1号MH) = 3.0		
マンホール工							
組立マンホール工							
デザインMH蓋（1号）	受枠共	材	1.0	組			
組立マンホール材料費		材	1.0	式	・ 別紙 MH材料総括表		
組立マンホール設置工	蓋設置含	機労材	1.0	箇所			
マンホール底部仕上工	新設	機労材	1.0	箇所	・ 砕石（RC-40） ・ インポートCo ・ モルタル上塗工	$V=0.27m^3=(1.3/2)^2 \times \pi \times 0.2$ $V=0.1m^3=(0.9/2)^2 \times \pi \times 0.17$ $A=0.6m^2=(0.9/2)^2 \times \pi$	
マンホール削孔費（1号）	φ200	労	1.0	箇所	・ 既設1号MH		
マンホール用可とう継手	φ200	材	1.0	個	・ 拡張バンドタイプ		
ヒューム管撤去	φ300	機労	2.0	箇所	・ 割込1号MH設置部		
ヒューム管撤去	φ300	機労	1.5	m	・ 割込1号MH設置部		
小型マンホール工							
既設小型マンホール撤去		労	1.0	基			
デザインMH蓋（小型）		材	1.0	組	新設 1 組		
小型マンホール設置工【市場】蓋設置含		機労材	1.0	箇所			
マルチバート支管	300×200	機労材	2.0	個			
小型MH鉄蓋基礎工		機労材	1.0	箇所	・ 基礎砕石 ・ 吸出防止剤	$A=0.8m^2=(1.0 \times 0.9) - (0.3/2)^2 \times \pi$ $A=0.8m^2$	
付帯工							
舗装撤去工							
舗装版切断（一次）		機労材	41.0	m	・ $8.0 \times 4 + 0.9 \times 4 + 2.5 \times 2 = 40.6$		
舗装版破碎（一次）		機労材	21.0	m2	・ $8.0 \times 0.9 \times 2 + 2.5 \times 2.5 = 20.65$		
舗装殻運搬（一次）	L=6.8km	機労材	2.0	m3	・ $20.65 \times 0.1 = 2.07$		
廃材処理費（一次）		処	5.0	t	・ $2.07 \times 2.35 = 4.86$		
舗装版切断（二次）		機労材	38.0	m	・ $10.0 \times 2 + 4.6 \times 4 = 38.4$		
舗装版破碎（二次）		機労材	92.0	m2	・ $10.0 \times 4.6 \times 2 = 92.0$		
舗装殻運搬（二次）	L=6.8km	機労材	8.0	m3	・ $(92.0 - (20.65)) \times 0.1 + 20.65 \times 0.05 = 8.17$		
廃材処理費（二次）		処	19.0	t	・ $8.17 \times 2.35 = 19.20$		
道路復旧工							
不陸整正		機労材	92.0	m2	・ 本復旧面積 A=92.0		
下層路盤（ARC-40）	t=200	機労材	20.0	m2	・ $7.20 + 7.20 + 5.47 = 19.87$		
上層路盤（M-40）	t=170	機労材	20.0	m2	・ 同上		
仮表層（②粗粒度As）	t=50	機労材	20.0	m2	・ 同上		
基層（②粗粒度As）	t=50	機労材	92.0	m2	・ 本復旧面積 A=92.0		
表層（⑥密粒度As）	t=50	機労材	92.0	m2	・ 同上		
仮設工							
交通管理工							
交通誘導員			40.0	人	・ 5人日×8日（MH設置3日、配管3日、舗装本復旧2日）		

管路土工

区間:管渠

スパン No.	測点	追加 距離	単距離	掘削幅	口径	管 断面積	砂基礎			(計画) 地盤高	計画 渠底高	土被り	掘削深	計画舗装厚				既設As	計算値							管路土工		管基礎工		
							管下	管上	砂基礎厚					下層	上層	As	Σ		掘削高	埋戻高	平均掘削深	平均埋戻厚	掘削断面積	埋戻断面積	砂基礎断面積	機械掘削	機械埋戻	砂基礎	改良土	
1	No.1	0.0	8.0	0.9	φ 200	0.037	0.10	0.30	0.616	#####	#####	1.880	2.196	0.20	0.17	0.05	0.42	0.05	2.15	1.16	2.35	1.36	2.12	1.22	0.52	16.96	9.76	4.16	5.55	
	No.2	8.0																	2.54	1.55										

小計(a)17.09.84.25.6

撤去部掘削量 : W0.9*L8.0*H(2.28-0.10)=15.70m3
埋戻量 : W0.9*L8.0*H(2.28-0.42)=13.39m3
舗装量 : W0.9*L8.0=7.20m2

1号MH部掘削量 : W2.5*L2.5*H(2.59-0.10)=15.56m3
埋戻量 : 15.56-((0.5*0.5)*3.14*2.59)=13.50m3
舗装量 : (W2.5*L2.5)-((0.5*0.5)*3.14)=5.47m2

付帯工

区間:管渠

スパン No.	測点	追加 距離	単距離	掘削幅	口径	管 断面積	計画舗装厚				既設As	本復旧 幅	一次取壊		一次運搬		二次取壊		二次運搬		舗装工/舗装準備工					区画線工	
							下層	上層	As	Σ			As切断	As破碎	殻運搬	殻処分	As切断	As破碎	殻運搬	殻処分	不陸	下層	上層	仮表層	表層	W150	W300
1	No.1	0.00	8.0	0.9	φ 200	0.037	0.20	0.17	0.05	0.42	0.05	0.00	17.80	7.20	0.36	0.85	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	7.20	7.20	7.20	0.00		
	No.2	8.00																									

小計(c)17.87.20.40.90.00.000.00.0.00.07.27.27.20.0

マンホール材料総括表

1 号マンホール設置工

N = 1 箇所

材料	規格	No.1			小計	備考
鉄蓋・受枠	130	1			1	錦鯉
調整金具	45	1			1	
調整リング	100	1			1	
調整リング	150				0	
斜壁	300				0	
斜壁	450	1			1	
直壁	600	1			1	
取付壁	600				0	
取付壁	900				0	
取付壁	1200	1			1	
底板	(200)	1			1	

設計深 2480

部材高 2525

小口径塩ビマンホール設置工

N = 1 箇所

材料	規格	No, 1			小計	備考
鉄蓋		1			1	錦鯉
小口径塩ビMH		1			1	